

第11回

ハンセン病問題に関するシンポジウム

目的

ハンセン病やエイズなどの人権について、シンポジウムや演劇を通して学び、差別や偏見を乗り越え、すべての人が「共に生きる」ための、より良い社会づくりに貢献することを目的とします。

プログラム

- 1 オープニング ■ 合唱／浜松市立高等学校合唱団
- 2 主催者代表あいさつ ■ 厚生労働省、法務省、静岡県、浜松市
- 3 シンポジウム ■ 司 会／石井 則久(国立感染症研究所ハンセン病研究センター長)
■ パネリスト／池間 哲郎(NPO法人アジアチャイルドサポート代表理事)
花井 十伍(NPO法人ネットワーク医療と人権理事)
小鹿美佐雄(国立駿河療養所駿河会会長)

- 4 演 劇 ■ 「光の扉を開けて」／沖縄の子どもたちが演ずる感動作



- 5 フィナーレ ■ 大合唱／「世界に一つだけの花」
出席された皆様もご一緒に歌ってプログラムを盛り上げましょう。

前 回 来 場 者 の 声

2011年1月に開催された<人権フォーラム2011 in 青森>。大雪にもかかわらず来場されたお客様からたくさんの感動の声が寄せられました。

- この世から差別、偏見がなくなればいいと本当に思いました。感動しました(男子高校生)
- 演劇にとっても感動しました。途中泣いたりもしました。皆と協力して生きていきたいと思います(女子高校生)
- もう一度、自分の考えと向き合う機会を与えてくださってありがとうございました。感動しました(35才女性)
- ハンセン病の歴史が壮絶でとても悲しくなった。目をそらしてはいけない、と思った(19才男性)
- 偏見、差別のない社会づくりに貢献していきたいと思いました。まず身近な人へ伝えていきます(58才女性)
- 感動しました。寒い青森に暑い熱い沖縄の力と心と愛があふれました。ありがとう(68才女性)